

令和6年（2024年）10月15日

保護者の皆様

札幌市立苗穂小学校  
校長 岡田 一伸

## 令和6年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果について

寒露の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今春に6年生児童を対象に実施しました「全国学力・学習状況調査」の本校の結果についてお知らせします。この結果を今後の授業や教育活動の計画に役立てていく所存です。なお、本調査により測定できるのは学力の一側面であることにご留意くださいますようお願いいたします。

### 児童質問紙より ～生活習慣・学習状況で全国平均より特に肯定的な回答が多かった質問事項～

\*（ ）は、全国の数値

- 自分には、よいところがあると思いますか 91.9%(84.1%)
- 人が困っているときは、進んで助けていますか 98.4%(92.7%)
- 友達関係に満足していますか 95.2%(91.1%)
- 学校に行くのは楽しいと思いますか 96.8%(84.8%)
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか 95.2%(88.2%)
- 算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか 71.0%(63.6%)
- 算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか 90.3%(84.6%)
- 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり、問題を見いだしたりすることがありますか 90.3%(83.2%)
- 英語の勉強は好きですか 72.6%(69.3%)
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか 95.1%(89.9%)

本校では子どもたちの生活の合言葉「あったかハート」を大切に教育活動を進めています。「自分にはよいところがある」「人が困っているときは、進んで助けている」「友人関係に満足している」という項目で肯定的な回答が多いのは、一人一人が「あったかハート」を大切に教育活動に取り組んでいる結果の表れと考えています。思いやりをもち、自他を大切にしようとする子どもたちだからこそ、「学校に行くのは楽しい」と感じられている子がこれほどまでに多いのではないかと考えられます。

算数の学習については、「問題が解けたとき、別の考え方を考えようとする」「学習したことを今後の学習で活用しようとしている」の項目で肯定的な回答が多い結果となっています。一つの正解を出すことだけでなく、課題について多面的に考え解決していくことや学んだことを生かそうとする子が多いのではないかと考えられます。

児童質問紙より ～生活習慣・学習状況で全国平均より肯定的な回答が少なかった質問事項～

\* ( )は、全国の数値

- 朝食を毎日食べていますか 87.1%(93.7%)
- 携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか 59.7%(71.1%)
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか 74.2%(80.7%)
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか 67.7%(80.8%)
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか 80.7%(83.5%)
- 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか 74.2%(83.2%)
- 国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか。71.0%(80.0%)

すべての教科の学習において、よく分かる授業と同時に子どもが学ぶ楽しさや意味を感じられるよう学習指導の改善に努めてまいります。分からないことがあっても粘り強く課題に取り組むことや自分の学びを見つめ直し、次につなげていく力を育てていきます。

また、目的をしっかりと捉えた上で、自分の考えをしっかりと表現できる力を身に付けられるように、日々の発表やノート指導、ICTの効果的な活用を力を入れていきます。

自分たちが住む地域のよさを認識したり、自分たちと異なる文化の人に興味をもったりできるよう、総合的な学習や道徳、外国語などの学習の充実も図っていきます。総合的な学習の時間では、コロナ禍で中止していた職業体験も今年度再開しました。地域と連動した学習活動を今後も進めていく考えです。また、学校生活においては、自分で目標を立てて取り組み、行動し、振り返るという過程を大切にすることで、目標をもつ大切さや困難なことに対しても挑戦していく態度を育成していきます。そのためにも児童面談の実施やキャリアパスポートを活用し、子どもたちの目標を共に確認し、達成するための方法を一緒に考えていくサポートに力を注いでいきたいと考えます。

食や睡眠などの基本的な生活習慣が身に付くよう、食指導や保健指導の充実を図るとともに、家庭との連携をより強めていきたいと考えています。

《その他》

- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか  
⇒2時間以上の割合が、全国は23.5%に対し、本校は19.4%となっています。また、土曜日や日曜日など、学校が休みの日については、全国は、11.6%に対し、本校は、6.4%となっています。
- 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしていますか(学習以外)  
⇒3時間以上の割合が、全国は20.7%に対し、本校は27.4%となっています。
- 放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか(複数回答可)  
⇒1. 友達と遊んでいる(79.0%)  
2. 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている(75.8%)  
3. 家族と過ごしている(54.8%)

# 国 語

## 本校の概要

### 知識及び技能

#### 【言葉の特徴や使い方に関する事項】

☆全国平均を上回っている。

#### 【情報の扱い方に関する事項】

☆全国平均を上回っている。

#### 【我が国の言語文化に関する事項】

☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

### 思考力、判断力、表現力等

#### 【話すこと・聞くこと】

☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

#### 【書くこと】

☆全国平均を下回っている。

#### 【読むこと】

☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

## 今回の調査における課題

●日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。

●目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

●人物像を具体的に想像することができるかどうかをみること。

## 改善の方向

○本などの中の言葉から自分を支える言葉を見付けたり、今までになかった考えを発見したりすることなどによって、読書の意義をより強く実感できるような学習活動の充実。

○内容に注目して、文章全体に一貫性があることを確かめたり、文末表現に注目して事実と考えを適切に区別しているか事実と考えを混同して書いているかを確認したりする学習活動の充実。

○登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断できるような学習活動の充実。

# 算 数

## 本校の概要

### 【数と計算】

☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

### 【図形】

☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

### 【変化と関係】

☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

### 【データの活用】

☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

## 今回の調査における課題

### 【数と計算】

●問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと。

### 【図形】

●球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと。

### 【変化と関係】

●道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること。

### 【データの活用】

●円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること。

## 改善の方向

○問題を読み、「多い」のだから加法、「少ない」のだから減法、のように形式的に立式するのではなく、問題場面を図にし、その図と問題文のそれぞれの数量の関係を比較し、捉えることができるような学習活動の充実。

○身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断することができるような学習活動の充実。

○道のりと時間が比例の関係にあることに着目して、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解できるような学習活動の充実。

○日常生活の場面のデータをグラフに表し、そのグラフから特徴や傾向を捉え、見出したことを表現できるような学習活動の充実。